

新青森県総合運動公園陸上競技場基本計画報告書

概 要 版

平成24年3月

青森県教育委員会

1. これまでの経緯

(1) 県有体育施設の課題

県有体育施設のうち、特に『陸上競技場』、『水泳場』、『野球場』の老朽化が著しい状況にあるため、財政状況や国体の開催時期等を踏まえつつ、計画的に改築整備していくこととし、中でも、陸上競技のほか、プロスポーツなど様々な競技での利用が期待される『陸上競技場』の改築整備を優先することとしました。

■ 県有体育施設の状況

名 称	竣工年	築年数
青森県総合運動公園 陸上競技場	昭和 41 年	45 年
青森県総合運動公園 水泳場	昭和 41 年	45 年
青森県総合運動公園 野球場	昭和 42 年	44 年
サンワアリーナ青森（県営スケート場）	昭和 60 年	27 年
青森県武道館	昭和 12 年	11 年
マエダアリーナ（新青森県総合運動公園総合体育館）	平成 14 年	9 年

(2) 陸上競技場の整備予定地

陸上競技場の整備予定地としては、過去の計画で「新青森県総合運動公園（青森市宮田）」としてきたところですが、決定から 15 年余経過していることに鑑み、今般、基本計画を策定するに当たって、改めて陸上競技場整備予定地の状況確認を行いました。

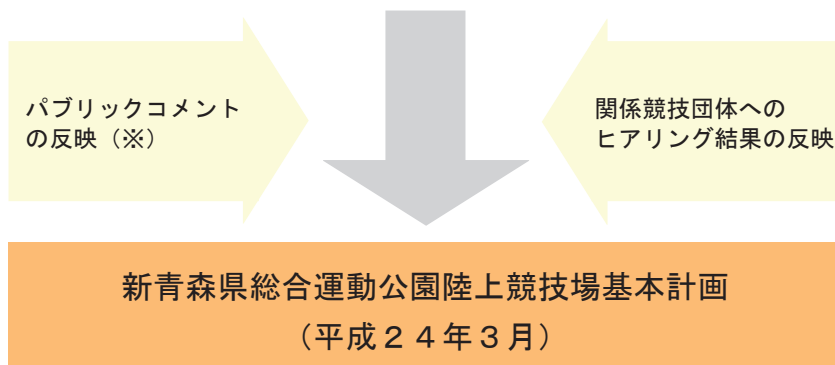
その結果、以下の理由から、改めて、新青森県総合運動公園内に整備することを**適当**としたところです。

- 県外及び県内全域からアクセスがしやすく、多くの県民の利用が期待されます。
- 既存施設との一体的な利用が可能となり、国体等各種大会やプロスポーツ等の開催、合宿所を利用した選手強化策の展開等が円滑に進められ、更なるスポーツ振興が期待されます。
- 既に策定された新青森県総合運動公園基本計画等に基づき、用地確保や粗造成、既存施設の整備が行われていることから、円滑な建設工事の着手が期待されます。
- 陸上競技場を利用することとなる関係競技団体においても、県内全域からの円滑なアクセスが図れる青森市への整備を適当としています。

2. 本計画の位置付け

本基本計画は、『陸上競技場』、『補助陸上競技場』、『投てき練習場兼アーチェリー場』の3施設を対象として、既往計画で位置付けられた基本方針を踏まえつつ、施設整備の基本的な考え方及び今後の設計条件をとりまとめたものです。

名称	策定年月
新青森県総合運動公園基本計画	平成 9 年 12 月
新青森県総合運動公園基本設計	平成 10 年 3 月
青森県スポーツ振興基盤整備計画	平成 23 年 10 月



※「青森県スポーツ振興基盤整備計画」策定時に寄せられた県民からの要望のうち「実施段階検討」としたものを整理し反映

3. 計画地の状況

■敷地条件

計画地	新青森県総合運動公園
所在地	青森市大字宮田字高瀬地内
都市公園種別	広域公園
公園面積	計画決定面積 86.0ha（開設面積 59.4ha：平成 24 年 3 月時点）
法規制条件	市街化調整区域（建ぺい率 50%、容積率 80%） 日影規制なし

■新青森県総合運動公園の位置



※Google Map に加筆

■新青森県総合運動公園の現状



4. 基本コンセプト

“The あおもりスタジアム”

青森の皆が親しみ、青森が全国に誇る、青森らしいスタジアムを目指します



注) モデルプランのイメージを示すものであり、実際とは異なります。

選手が競技したくなるスタジアム

競技者が主役

- ・好記録、好プレイが期待できる高速タータンウレタン舗装やスポーツターフの採用
- ・積雪期でも練習ができる屋内雨天走路の設置
- ・歓声が間近で聞こえるスタンド構成



観戦したくなるスタジアム

みんなの夢舞台

- ・フィールドと一体感を生むスタンド構成
- ・個人からグループまで対応した多様なシート構成
- ・ユニバーサルデザインによるバリアフリーな計画



競技運営がしやすい

大きな大会で一流選手を間近に

- ・各種大会に対応できるフレキシブルな施設構成
- ・選手、観客、運営、VIP、メディアの明確な動線分離
- ・国体開閉会式、各種陸上大会、Jリーグ等に対応できる施設づくり



環境にやさしくサステナブル

地球にやさしいみんなのスタジアム

- ・雨水の利用
- ・自然エネルギーの利用
- ・県産材や耐久性のある材料を採用
- ・メンテナンスの更新の容易な計画



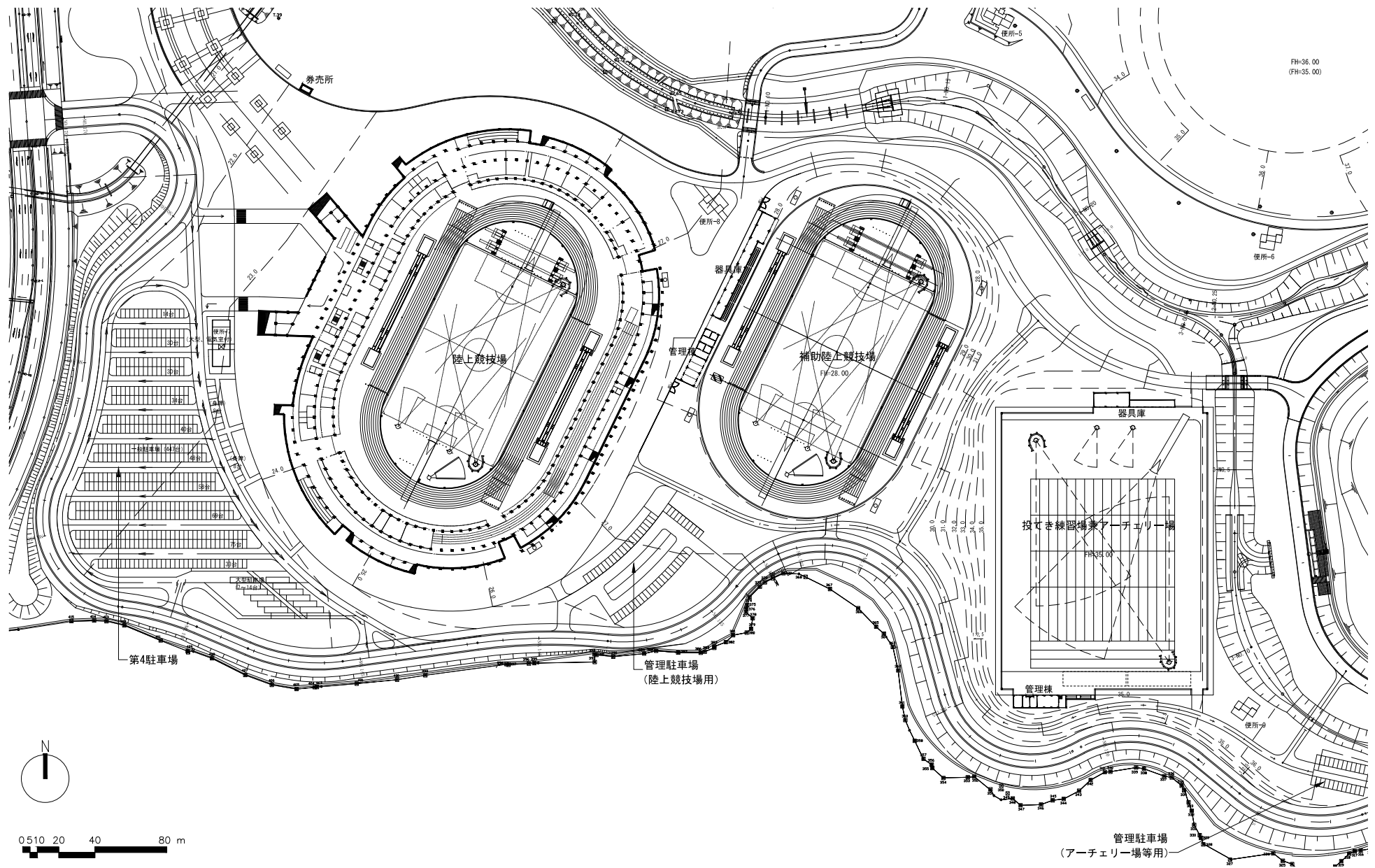
安心・安全

災害時にも安心：広域避難所

- ・受水槽は災害時の貯水タンクとしても有効
- ・ナイター用の発電機が停電時の電力をバックアップ
- ・災害時に避難、救護、物資輸送等様々な利用ができるフィールド、観客席等大空間



■ 配置図



■陸上3施設の整備イメージ



注) モデルプランのイメージを示すものであり、実際とは異なります。

■陸上競技場の整備イメージ



注) モデルプランのイメージを示すものであり、実際とは異なります。

5. 陸上競技場整備基本計画

(1) 施設の位置付け

○第1種公認陸上競技場の基準を満たす競技場

全国規模の陸上競技大会の開催を可能とするため、現在と同様、公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認陸上競技場として整備します。

○様々な競技が実施できる競技場

陸上競技だけではなく、サッカー、ラグビーフットボールなど様々な競技の実施が可能な総合競技場として整備します。

○プロスポーツの開催が可能な競技場

プロサッカー（Jリーグ）の試合や将来Jリーグのホームスタジアムとして活用することを可能とするため、Jリーグスタジアム検査要項（J1クラス）に準じた競技場として、またラグビーフットボールのトップリーグの開催を可能とするため、ジャパンラグビートップリーグ規約を満たす競技場として整備します。

○国民体育大会の開催が可能な競技場

将来の国民体育大会の開催に向けて、開閉会式会場や陸上競技会場としての活用を考慮して整備します。



(2) 計画諸元

■施設関係計画

区分	規格・仕様	備考
収容人数	○約 20,000 人 ○座席数 約 20,000 席	VIP 席含む
面積規模	○延床面積：約 19,400 m ² ○建築面積：約 17,200 m ²	
屋根	○メインスタンドに設置	
主な諸室	○貴賓室、来賓控室 ○救護室、授乳室 ○更衣室、トレーニング室 シャワー室、ウォーミングアップ室、屋内雨天走路 ○運営司令室、記録室、写真判定室、情報処理室、医務室、ドーピング検査室 ○用器具庫 など	第1種公認基準を満たしJリーグスタジアム検査要項等各種規定に準じた諸室を確保

■フィールド関係計画

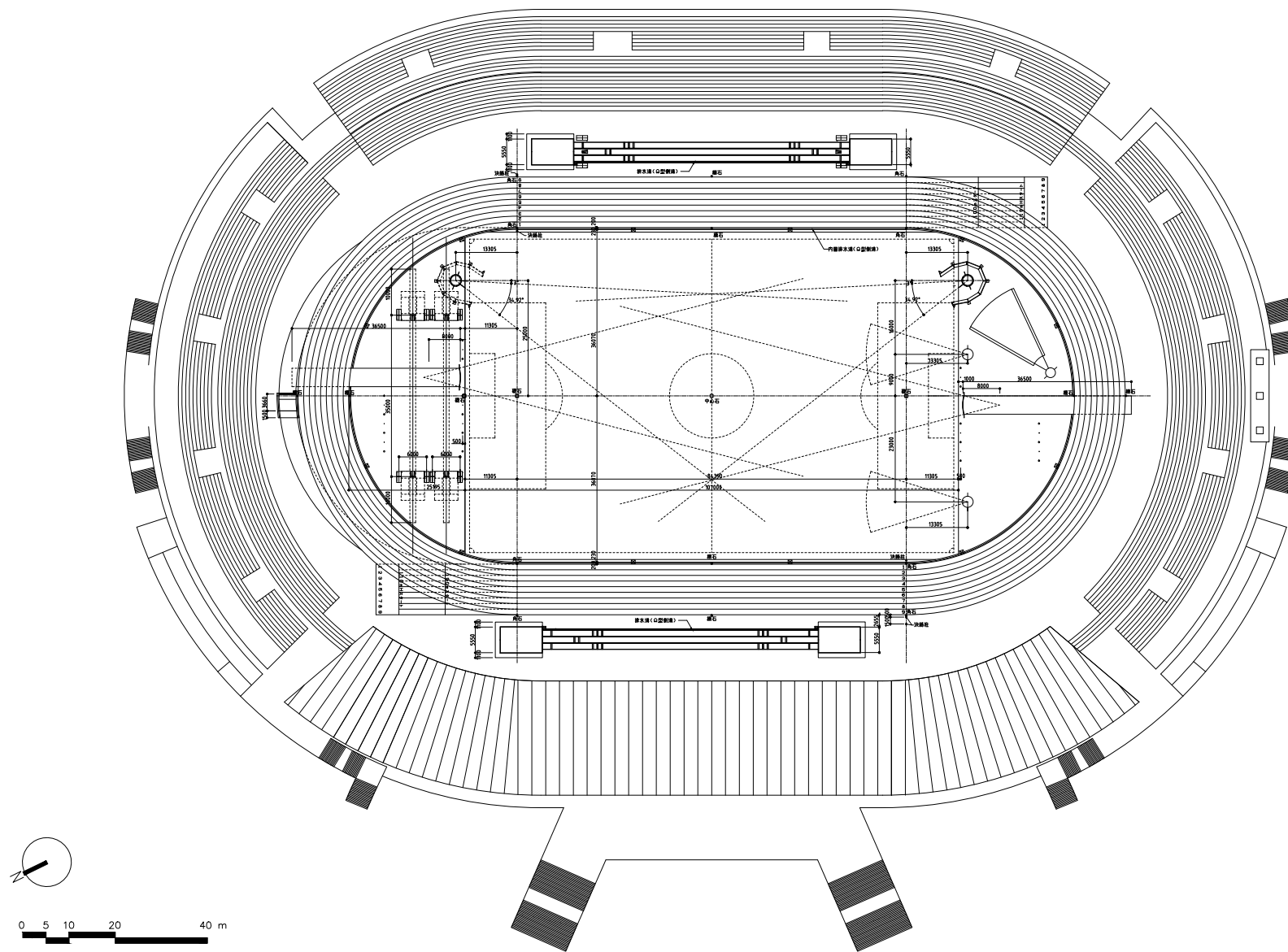
区分	規格・仕様	備考
トラック	○400m×9レーン ○全天候舗装	高速タータン仕様とする
フィールド	跳躍競技施設 ○走幅跳・三段跳：6レーン ○棒高跳：6ヶ所 ○走高跳：7ヶ所	
	投てき競技施設 ○砲丸投：3ヶ所 ○やり投：2ヶ所 ○円盤投・ハンマー投：2ヶ所	円盤投・ハンマー投は兼用
	インフィールド ○天然芝：107m×71m	

■設備関係計画

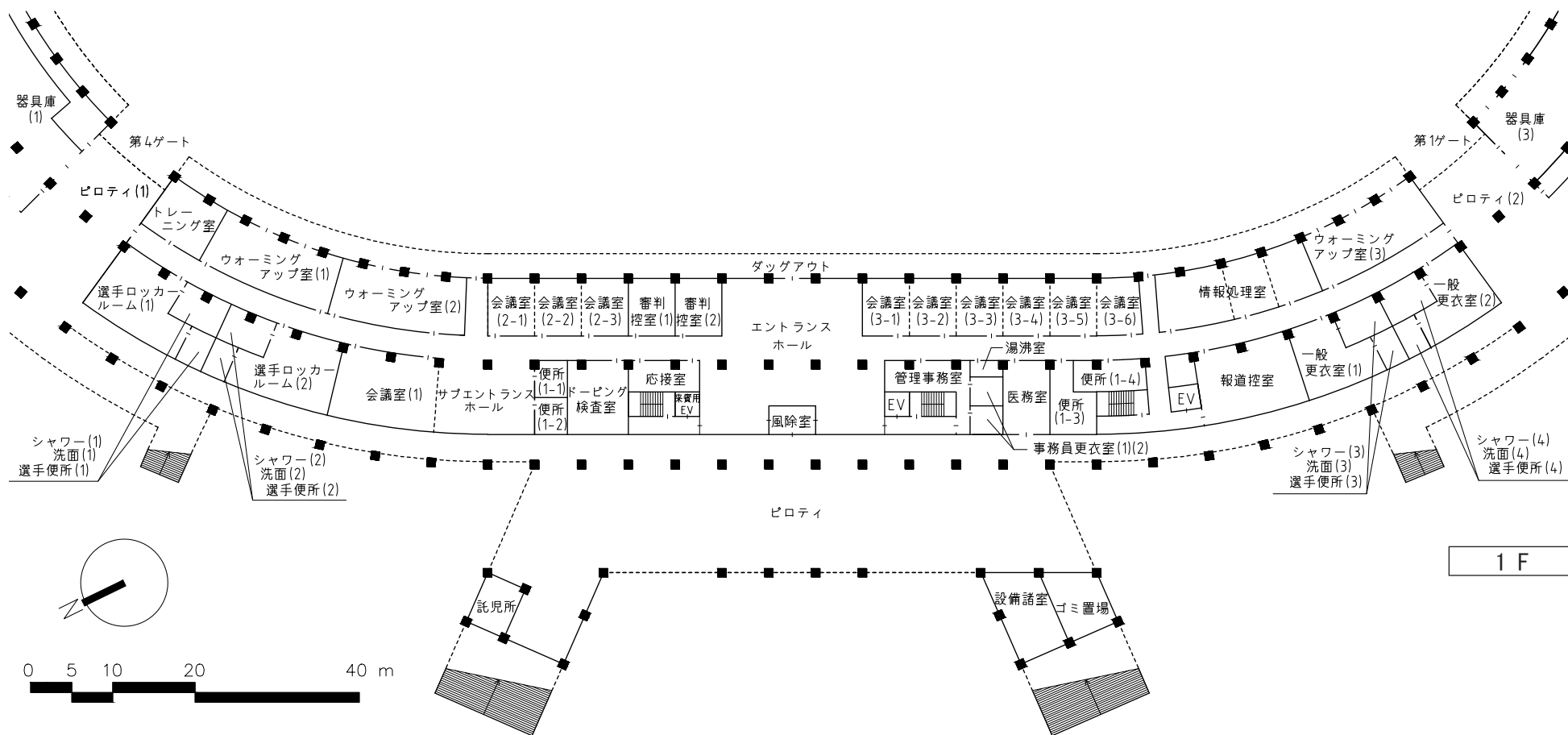
区分	規格・仕様	備考
ナイター照明	1,500ルクス以上	Jリーグスタジアム検査要項に準拠
電光掲示板	大型映像装置	

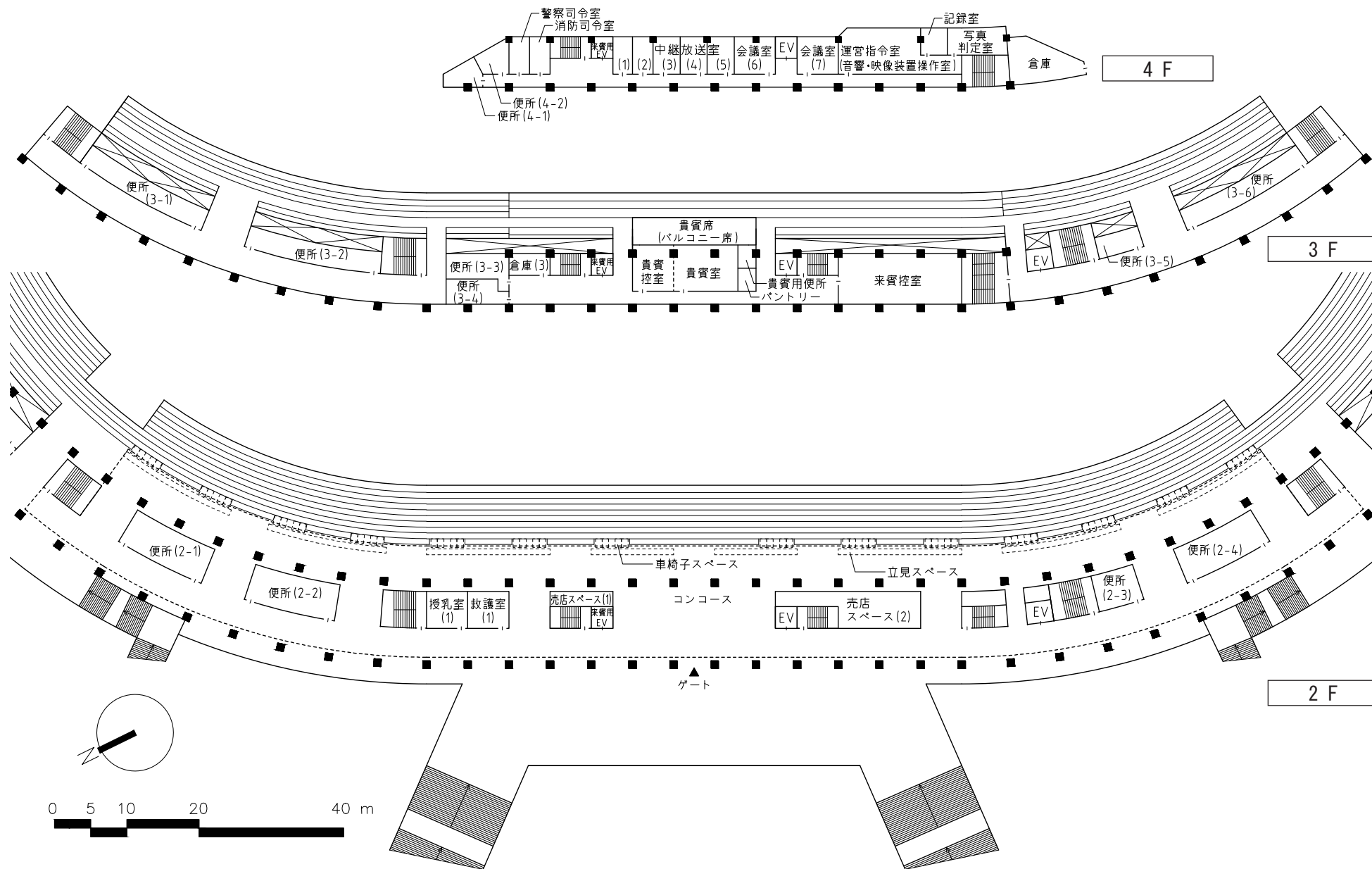
(3) モデルプラン

①全体計画

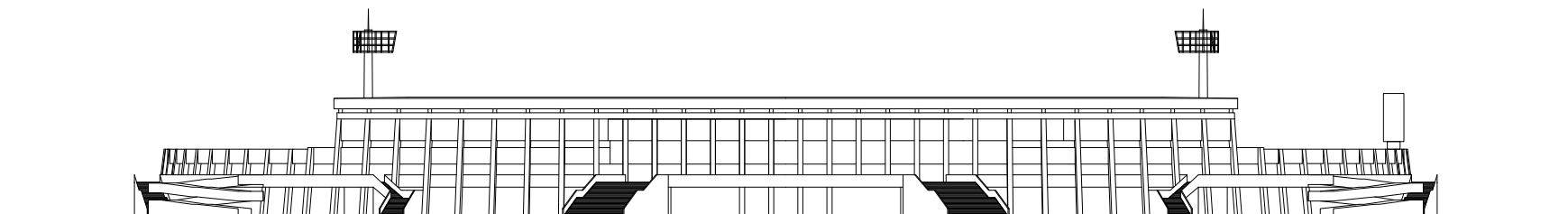


②メインスタンド各階平面図

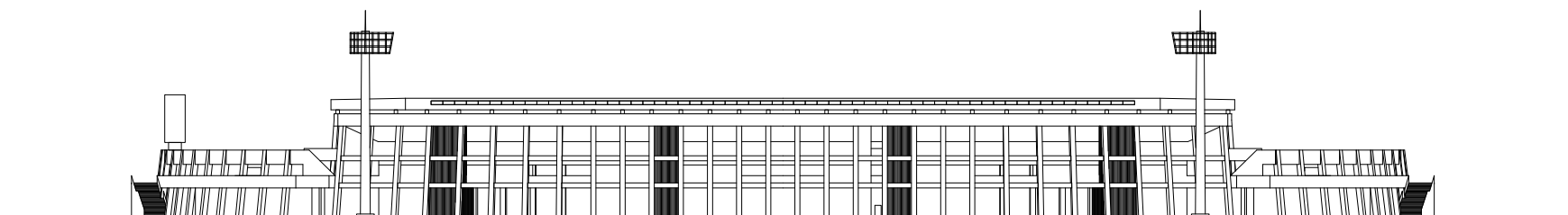




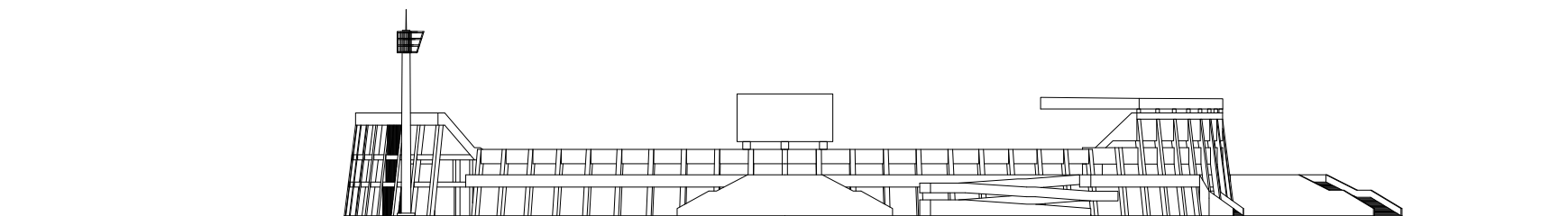
③立面イメージ



西立面図



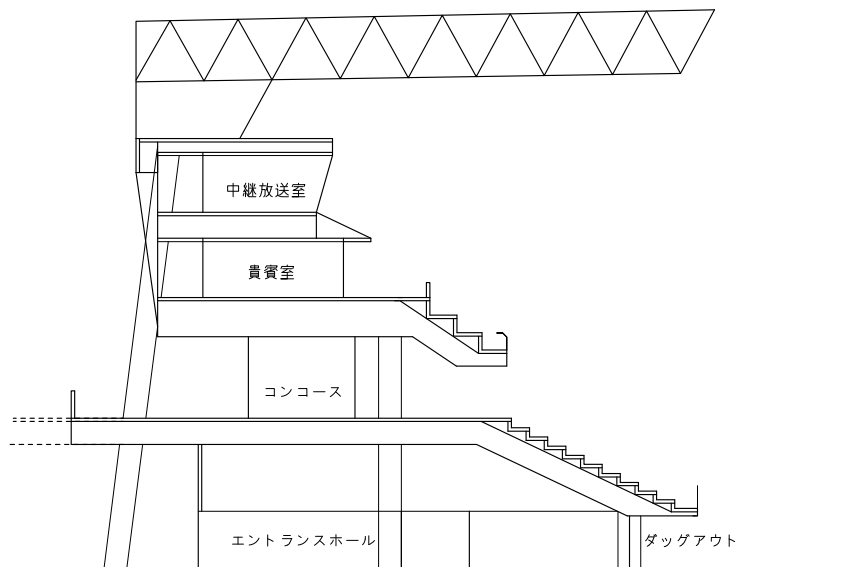
東立面図



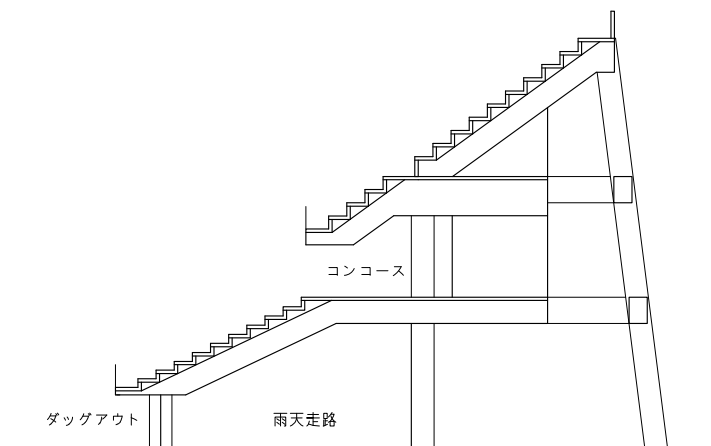
南立面図



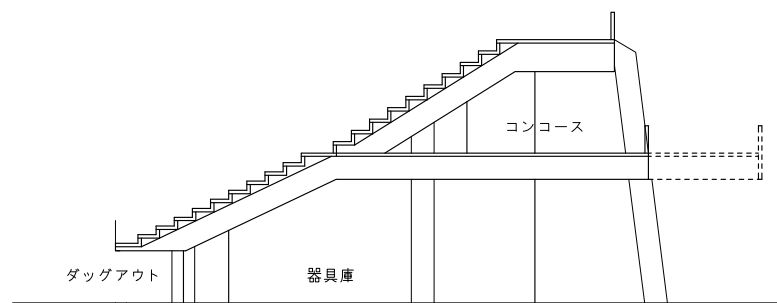
④断面イメージ



メインスタンド



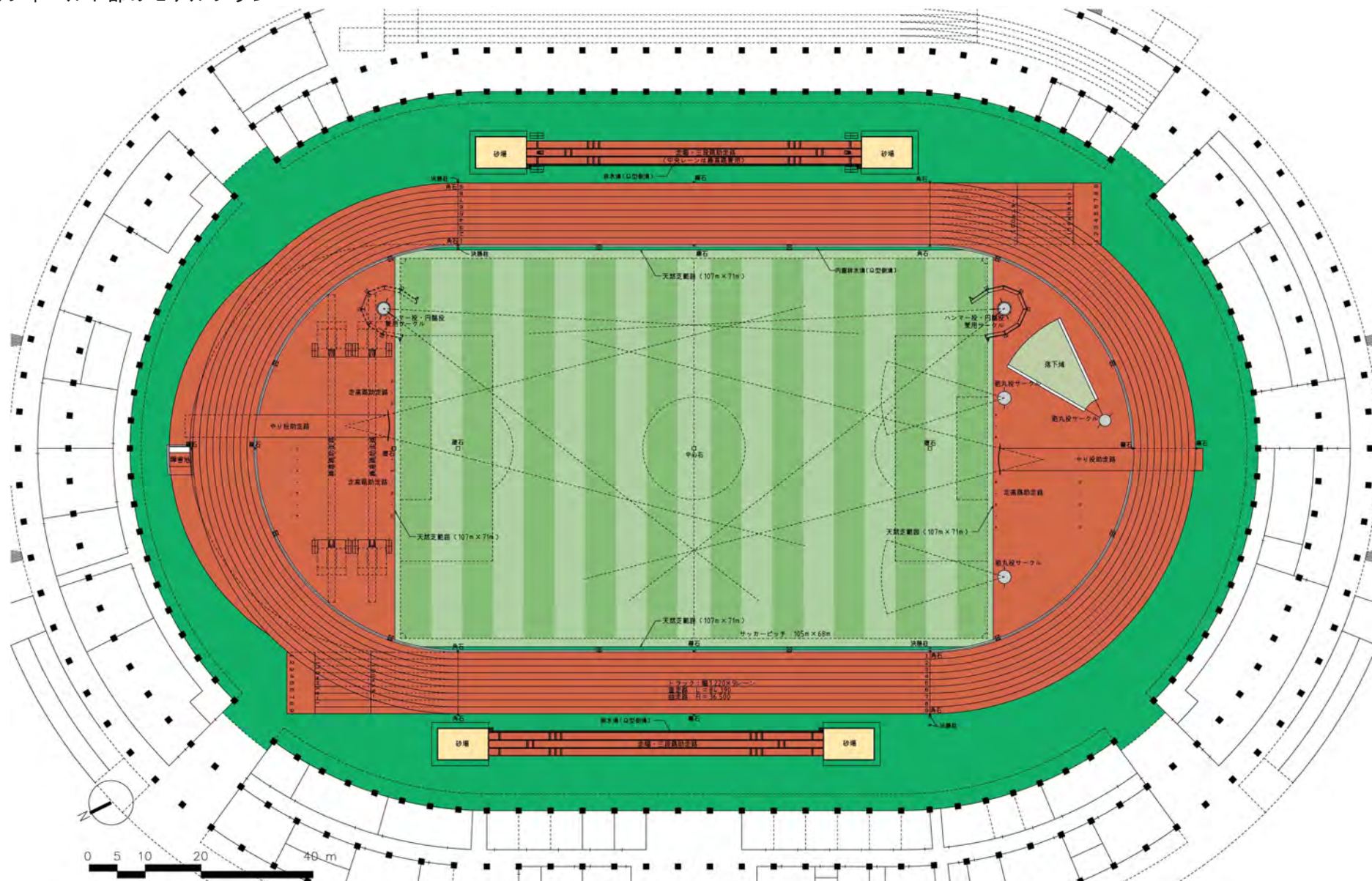
バックスタンド



サイドスタンド



⑤フィールド部のモデルプラン



注) 全天候舗装の色についてはイメージを示すものであり、今後の検討が必要です。

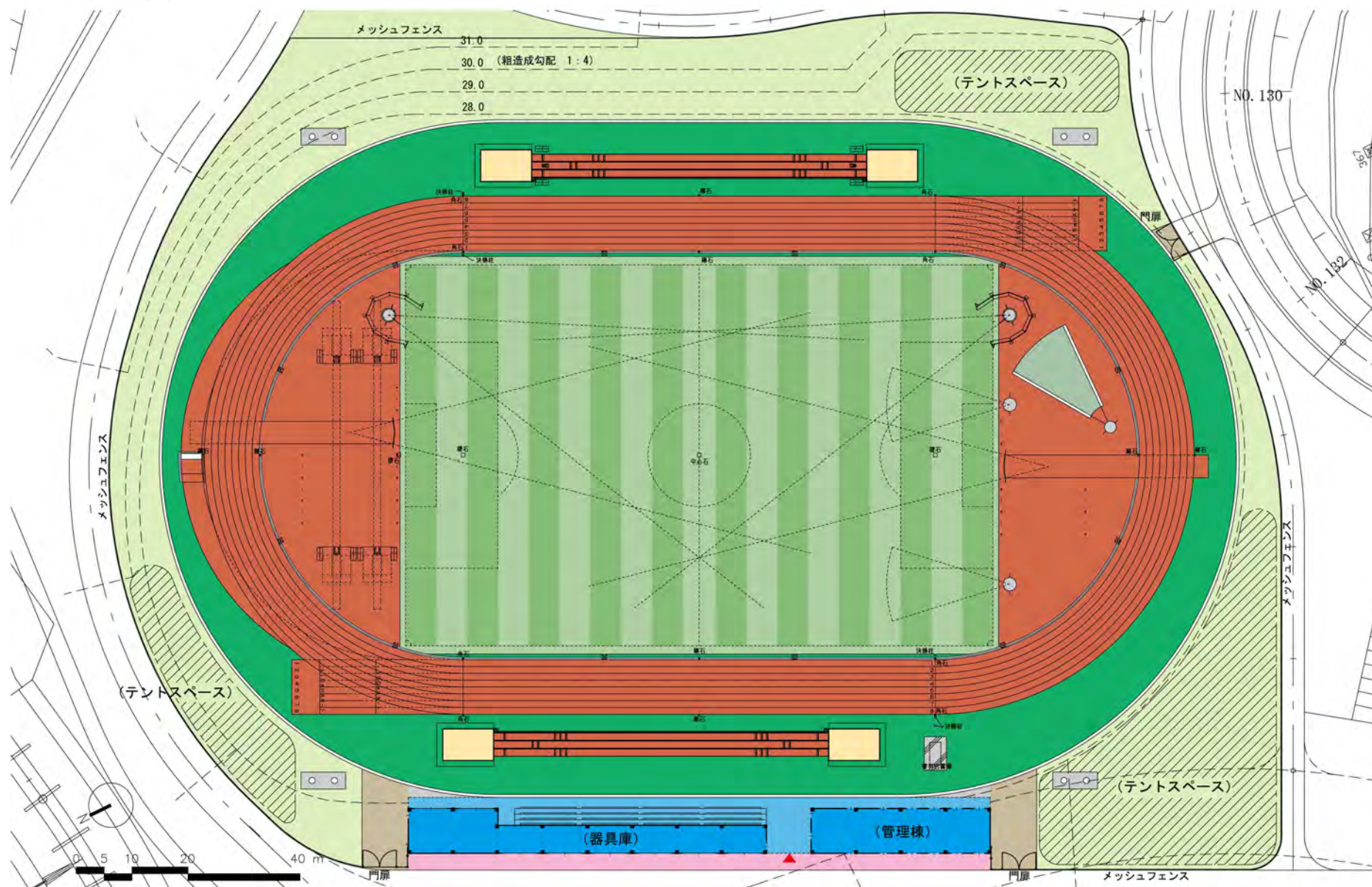
6. 補助陸上競技場整備基本計画

- 陸上競技大会の開催を可能とするため、公益財団法人日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場として整備します。
- 陸上競技だけでなく、サッカー、ラグビーフットボール等様々な競技の実施が可能な総合競技場として整備します。
- 将来の国民体育大会の開催に向けて、選手のウォーミングアップ場所や大会参加者の集合場所として活用を考慮して整備します。

■計画諸元

区 分		規格・仕様	備 考
トラック		○400m×8レーン ○全天候舗装	舗装は陸上競技場と同仕様
フ イ ー ル ド	跳躍競技施設	○走幅跳・三段跳：6レーン ○棒高跳：6ヶ所 ○走高跳：7ヶ所	陸上競技場と同数
	投てき競技施設	○砲丸投：3ヶ所 ○やり投：2ヶ所 ○円盤投・ハンマー投：2ヶ所	陸上競技場と同数 ただし円盤投・ハンマー投用の囲いは1組とする
	インフィールド	○天然芝：107m×71m	陸上競技場と同様
付 帯 施 設	管理棟	○大会運営室 ○更衣室、シャワー室 ○便所	
	観覧席	○約300席（ベンチシート）	メイン側に確保
	器具庫	○必要器具及び円盤投・ハンマー投用の囲いが収納できる大きさ	
	その他	○大時計	
設 備	ナイター照明	○200ルクス以上	
	電光掲示板	○設けない	

■モデルプラン平面図



注) 全天候舗装の色についてはイメージを示すものであり、今後の検討が必要です。

7. 投てき練習場兼アーチェリー場整備基本計画

○投てき競技の練習やアーチェリー大会の開催を可能とした施設として整備します。

○投てき競技の練習や大会以外は多目的広場として活用します。

■計画諸元

区分	規格・仕様	備考
規模	○約 115m×154m	
投てき練習場	○砲丸投：2ヶ所 ○やり投：1ヶ所 ○円盤投・ハンマー投：2ヶ所	ただし円盤投・ハンマー投用の囲いは1組とする
アーチェリー場	○16レーン（32人立） ○90m級	標的後方に50mの余裕空間を確保
付帯施設	管理棟	○大会運営室 ○更衣室 ○倉庫 大会本部として利用が可能な施設として整備
	観客席	○観覧スペースを確保するが、ベンチ等の座席は設けない
	器具庫	○投てき競技用、アーチェリー用にそれぞれ設ける ○うち投てき競技用は、円盤投・ハンマー投用の囲いが収納できる大きさ
設備	ナイター照明	○設けない
	電光掲示板	○設けない

■モデルプラン平面図



8. 整備スケジュール

■陸上競技場

年度	I年度						II年度						III年度						IV年度															
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
建築工事																																		
フィールド工事																																		

■補助陸上競技場

年度	I年度									II年度									
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
建築工事																			
フィールド工事																			

■投てき練習場兼アーチェリー場

年度	I年度									
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9
建築工事										
フィールド工事										

注1) 各工事期間には、工事準備及び行政検査に要する期間を含みます。
 注2) 公認検査の時期は調整を要します。